



## 不登校対応研修会を実施しました

昨年度に引き続き、紀南教育事務所主任教育相談主事と教育相談主事を迎え、全教職員対象に不登校対応研修会を実施しました。今年度は、架空事例でケース会議(演習)を行い、様々な視点から不登校のきっかけや要因の見立て(アセスメント)を行うことで、ケース会議の有効性やアセスメントについての理解を深めました。

### インシデント・プロセス法を用いて

まず、不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方や学校生活場面における観察ポイント、ケース会議の意義やそのあり方について、講義を受けました。

その後、架空事例での演習(インシデント・プロセス法)を行いました。学部を超えたグループを編成し、3~4人のグループで、子どもに関する情報収集や子どもの困難さや背景、今後の目標や具体的な手立てを考え、発表しました。様々な視点から、多くの気づきが得られました。

ホワイトボードを使い、情報を視覚化し、出席者と共有を図る。

### ケース会議は、安心・安全の場

児童生徒のためによりよい支援(具体的な手立て)を考えようと、先生方が主体的に事例検討(演習)に参加し、自由に発言しながら、お互いの意見や発想を生かそうと真剣に取り組まれている姿を通して、ケース会議の場は、ケースを提供する側も参加する側も双方が安心できる場であることが基本であることを再確認しました。



各学校においても、必要に応じてケース会議が開催されていることと思います。困っている子どもたちの状況や背景を理解し、よりよい支援を考えていく際には教職員同士が連携を図るとともに、スクールカウンセラー(心理の専門家)や福祉・行政等関係機関と連携していくことも、効果的な対応(手立て)を考える上で有効な支援につながると考えられます。

**校内で組織的に対応し、専門家や各関係機関と連携し、  
担任が動きやすいプランを考えていくことが大切です！**



研修で学んだ内容を一部お伝えさせていただきます。



### ◇ 不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方

「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があります。

また、児童生徒によっては、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意する必要があります。 文部科学省(2019)「不登校児童生徒への支援の在り方について(通知)」

### ◇ 児童生徒の観察

#### ☆多くの機会をとらえる

児童生徒は、時間や場所、あるいは教科や行事によって、様々な表情や姿を見せます。そのため、できるだけ多くの機会を捉えて、児童生徒の心身の状況を把握することが大切です。

登下校 朝の会、終わりの会 授業場面 休み時間 給食など

#### ☆教職員同士の連携

児童生徒の観察は、教職員同士の連携のもとで、実施されるようにすることが重要です。



## ◇ ケース会議の意義

学校現場で、より効果的に対応していくために…

- 教員
- スクールカウンセラー（心理の専門家）
- スクールソーシャルワーカー（福祉の専門家）を活用することも大切です。



子どもたちの様々な情報を整理統合し、アセスメントやプランニングをしたうえで、**教職員がチームで**、問題を抱えた子どもたちの支援を行います。

参考：中央教育審議会（2015）「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）」

ケース会議は子どもたちのためであり、今後の具体的な支援につながっていくものであります。

アセスメント（見立て）やプランニング（ケースに応じた目標と計画を立てること・手立て）が大切です。

校内のケース会議に生かしてください。



## 令和3年度 はまゆう作品展のご案内



今年度もコロナウイルスの影響により、例年行っている『はまゆう祭』が中止となりました。そこで、児童生徒が「図工」「美術」「書道」などの日々の授業で取り組んでできた作品を是非ご覧いただきたいと考え、近隣の岩田公民館様のご協力のもと、「はまゆう作品展」を開催することとなりました。

小学部・中学部・高等部・寄宿舍それぞれの授業等で取り組んでいる作品を展示します。また、「木工」「窯業」「皮革」「縫製」といった高等部作業学習の製品紹介も行います。ご多用とは存じますが、お気軽に是非ご来場ください。

日時：12月17日（金曜日）～12月19日（日曜日）

時間：10時～15時

場所：岩田公民館多目的ホール（上富田町岩田1765）

※見学の際には、手指の消毒・マスクの着用にご協力ください。



駐車場も隣接しております。ご不明な点がございましたら学校までお問い合わせください。

教頭：世儀英之  
新家浩俊

電話：0739-47-2115

